

# 「旧約聖書概論①」

תּוֹרָה

(トラー：モーセ五書)



*the Living Torah*

担当講師：金 聖圭

授業スケジュール		
① 4/21	トラー (モーセ五書：律法) とは①	Video授業
② 4/21	トラー (モーセ五書：律法) とは②	Video授業
③ 4/28	創世記①	
④ 4/28	創世記②	
⑤ 5/12	創世記③	Video授業
⑥ 5/12	創世記④	Video授業
⑦ 5/26	創世記⑤	読書課題①
⑧ 5/26	出エジプト記①	
⑨ 6/2	出エジプト記②	
⑩ 6/2	出エジプト記③	
⑪ 6/9	レビ記	
⑫ 6/9	民数記	
⑬ 6/16	申命記①	
⑭ 6/16	申命記②	
⑮ 6/23	申命記③	読書課題②
⑯ 6/30	期末テスト	
⑰ 6/30	まとめ	

### ◎ 評価方法

1) 読書課題：30点

①創世記～出エジプト記 (5月26日) 15点

②レビ記～申命記 (6月23日) 15点

2) テスト：60点

3) 出席と態度：10点

# 1. トーラーは変わる事のない真理である神の御言葉

神の御言葉は決して変わる事のない真理である。神の御言葉は私たちが区分するように、旧約と新約に分けられるものではなく、また、互いに矛盾したり、ぶつかり合うものでもない。旧約と新約は互いに違う話ではなく、互いに繋がり合うひとつ（エハド）の話であり、神の御言葉である。だから、聖書は創世記に始まり、黙示録で終わるひとつの本である。聖書を新約と旧約に分けたのは神ではなく、人間である。

## 1) トーラー (תּוֹרָה) の定義：教え、教訓、指針

創世記26:5 これはアブラハムがわたしの声に聞き従い、わたしの戒めと命令とおきてとおしえを守ったからである。

עֲקֵב אִישׁ־שָׁמַע אֲבְרָהָם בְּקוֹלִי; וַיִּשְׁמַר מִצְוֹתַי מִשְׁמֵרַתִּי, מִצְוֹתַי חֻקוֹתַי וְתוֹרֹתַי: <sup>5</sup>

創世記26章5節は、「トーラー (תּוֹרָה)」が「神の声」であることを啓示している。ヘブライ語の「トーラー (תּוֹרָה)」を私たちは「律法」という日本語訳の意味で受け取っているが、日本語の「律法」という言葉では「トーラー (תּוֹרָה)」が何を意味するのか正確に把握することはできない。だから、ヘブライ語で「トーラー (תּוֹרָה)」が何を意味するのかを先ず、学ぶ必要がある。「トーラー (תּוֹרָה)」の語根<sup>1</sup>である「ヤーラー (יָרָה)」から、たくさんの単語が派生しているが、「トーラー (תּוֹרָה)」もその中の一つである。

「トーラー (תּוֹרָה)」の語根は「ヤーラー (יָרָה)」  
「ヤーラー (יָרָה)」は、矢で的を正確に射るという意味

### ①ヘブライ語の「トーラー (תּוֹרָה)」の意味

**A. 的を正確に射る：**トーラーは“的を正確に射る”という意味を持っているが、ヘブライ語で「罪」という単語は「ハッター (חַטָּאת) 語根：חָטָא：外れる」で、“的から外れる”という意味である。すなわち、聖書が言っている罪とは“的から外れる”ことである。少しでも外れたら罪である。正確に的を射る時だけ「トーラー (תּוֹרָה)」となる。「トーラー (תּוֹרָה)」は、教え、教訓、指針という意味であり、的を正確に射ることができるようにするための、教え、教訓、指針がトーラーである。

<sup>1</sup>ヘブライ語は基本的に3つの文字で構成された語根から全ての単語が派生している言語である。

### ヨハネ7章16節

そこでイエスは彼らに答えて言われた。「わたしの教えは、わたしのものではなく、わたしを遣わした方のものです。

16 הַשִּׁיב לָהֶם יֵשׁוּעַ וְאָמַר: "תּוֹרַתִי אֵינָהּ שְׁלִי כִּי אִם שֶׁל שׁוֹלְחִי.

それでは、的とは何か → \_\_\_\_\_ トーラーは、神の本質を正確に射るようになる教え、指針である。聖書が指し示すその方が誰なのかを正確に知るようになさしてくれるのが、トーラーである。トーラーは**神の義**と**神の本質**を現している。従って、トーラーは的を正確に射ることができるようになるための、**教え、教訓、指針**である。聖書が指し示すその方が誰なのかを正確に知ることが「トーラー」、すなわち、的を正確に射ることである。

箴言9:10【主】を恐れることは知恵の初め、聖なる方を知ることは悟りである。

10 תְּחִלַּת חָכְמָה יְרֵאת יְהוָה; וְדַעַת קִדְשִׁים בִּינָה:

ここに「ホフマー (חֻכְמָה)」と「ビーナー (בִּינָה)」という言葉があるが、この二つの言葉は聖書では「トーラー (תּוֹרָה)」を象徴する重要な単語である。\*申命記4:6

トーラーは、神様についての真理の知識 (בִּינָה) を私たちに与えてくれる。私たちにこの知識がないなら、私たちは滅ぼされる。

### ホセア4:6

わたしの民は**知識がない**ので**滅ぼされる**。あなたが**知識**を退けたので、わたしはあなたを退けて、わたしの祭司としない。あなたは**神のおしえ**を忘れたので、わたしもまた、あなたの子らを忘れよう。

6 נִדְמוּ עַמִּי מִבְּלִי הַדַּעַת; כִּי־אַתָּה הַדַּעַת מָאַסְתָּ, וְאַמְאָסָאךָ מִכְהַן לִי, וַתִּשְׁכַּח תּוֹרַת אֱלֹהֶיךָ, אֲשַׁכַּח בְּנֵיךָ גַם־אֲנִי:

この知識は単なる知識ではない。この知識は、トーラー (ホフマーとビーナー) から来る知識である。この知識 (ホフマーとビーナー) は箴言にたくさん出てくる。トーラーの中に、ホフマーとビーナーがあり、トーラーの中に真理の知識がある。トーラーは究極的に「**神の声**」「**神のことば**」を意味する。そして、それは誰を指し示しているのか。神の生けるみことば「**ハ・トーラー (הַתּוֹרָה)**」、私たちの主、イエシュア・ハマシアフ (יֵשׁוּעַ הַמָּשִׁיחַ) である。

コロサイ2:2 それは、この人たちが心に励ましを受け、愛によって結び合わされ、理解をもって豊かな全き確信に達し、**神の奥義であるキリスト**を真に知るようになるためです。

3 このキリストのうちに、**知恵と知識**との宝がすべて隠されているのです。

2 לְמַעַן יִנְחָם לְבָבְכֶם וַיְתַקְּשְׁרוּ יְחֻדָּיו בְּאַהֲבָה וַיְגִיעוּ אֶל כָּל הָעֵשָׂר אֲשֶׁר בְּהַכְנָה  
הַשְּׁלֵמָה, אֶל יְדִיעַת סוּד הָאֱלֹהִים, הַמְּשִׁיחַ, 3 אֲשֶׁר צְפוּנִים בּוֹ כָּל אוֹצְרוֹת הַתְּקוּמָה  
וְהַדַּעַת.



コロサイ3:2 あなたがたは、地上のものを思わず、**天にあるもの**を思いなさい。

コロサイ3:10 新しい人を着たのです。新しい人は、造り主のかたちに似せられてます

天にあるもの、上にあるもの、それが真の知識であり、それはイエシュア・ハマシアフの中に隠されている。イエシュア・ハマシアフが話されたことばが「トーラー」の本質「真の知識」を与える。これがなければ私たちは滅ぼされると聖書は言っている。\*ホセア4:6

**B. 先生、教師：**ここで言う先生とは「トーラーを教える者」である。誰がトーラーを教える者を代表するのか。**イエシュア・ハマシアフ (יֵשׁוּעַ הַמְּשִׁיחַ)** である。

箴言 5:13 私は私の教師の声に聞き従わず、私を教える者に耳を傾けなかった。

וְלֹא־שָׁמַעְתִּי בְּקוֹל מוֹרִי; וְלִמְלַמְדִּי, לֹא־הִטִּיתִי אָזְנִי: 13

先生、教師：モーライ (モֹרִי) 女性形、モーレー (מוֹרָה) 男性形  
モーライとモーレーの語根も「ヤーラー (יָרָה)」 トーラーと同じ語根

モーレー (מוֹרָה) は教師、教え、先の雨という意味のヘブライ語で、トーラーと同じ語根を持っている。モーレーとトーラーはそういう意味で深く結びついている。創世記22章には神の命令に従いイサクを捧げるためにモーリヤー (מוֹרְיָה) の山に向かうアブラハムの話が出てくるが、モーリヤーというヘブライ語は「神は私の先生」という意味である。すなわち、神様はモリヤの山でアブラハムに何かを教えられるということである。

創世記22:2 神は仰せられた。「あなたの子、あなたの愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そしてわたしがあなたに示す一つの山の上で、全焼のいけにえとしてイサクをわたしにささげなさい。」

וַיֹּאמֶר קַח־נָא אֶת־בְּנֶךָ אֶת־יִחִידְךָ אֲשֶׁר־אַהַבְתָּ אֶת־יִצְחָק, וְלֶךְ־לְךָ, אֶל־אֶרֶץ הַמֹּרְיָה; וְהַעֲלֵהוּ שָׁם לְעֹלָה, עַל אֶחָד הַהָרִים, אֲשֶׁר אָמַר אֱלֹהִים: 2

イエシュアは、トーラー (神の義、神の本質) を教えるお方である。アブラハムはモリヤ (神は私の教師) の山でイエシュアにあったのである。\*ヨハネ8:56

**c.先の雨**：先の雨「ヨレー (יֹרָה)」 → 秋の雨、10~12月はじめに降る雨、先の雨 (ヨレー) の語根もトーラーと同じ「ヤーラー (יָרָה)」である。

申命記11:14 「わたしは季節にしたがって、あなたがたの地に雨、**先の雨**と**後の雨**を与えよう。あなたは、あなたの穀物と新しいぶどう酒と油を集めよう。 (יֹרְה וּמִלְקוֹשׁ)

エレミヤ5:24 彼らは心の中でも、こう言わなかった。『さあ、私たちの神、【主】を恐れよう。主は大雨を、**先の雨**と**後の雨**を、季節にしたがって与え、刈り入れのために定めら

この、先の雨「ヨーレー (יֹרְה)」は、乾期の間、渴ききって固くなった土地を濡らし、柔らかくして、土地を耕すことができるようにする役割を果たす。イスラエルの農業において、先の雨(ヨーレー)と後の雨「マルコーシュ (מִלְקוֹשׁ) : 春の雨、収穫の雨」は一年の農業の作況を左右する決定的な要因である。聖書はこれらの雨について神様の祝福だと語っている。

**トーラーの深い意味**がここに啓示されている。聖書が言う「地」とは私たちの「心」を意味し、渴いて固くなった私たちの心を、先の雨「ヨーレー (יֹרְה)」、すなわち、「トーラー (神のみことば)」が潤し、柔らかくして、耕すことのできる「心」にする。それが、先の雨(トーラー)である。だから、先の雨(ヨーレー)、トーラーは神の御言葉の回復を意味するのである。

**D. 親**：親、両親「ホーレー (הוֹרֶה)」の語根もトーラーと同じ「ヤーラー (יָרָה)」である。すなわち、トーラーは子供たちに教えを与えて、親についてくるようにさせる親の役割をするということである。

## 2) トーラー (הַתּוֹרָה) は天からのもの

**コロサイ3:1~2** こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

トーラーは上からのもの、天からのものである。(出13:9、出20)

**A. 律法主義とは：**人間が神に近づくために作り出したのを「律法主義」という。私たちは「律法主義」と「トーラー (律法)」を混同してはならない。「これを守れば、神様はもっと私たちが愛してくださるだろう。これを守ればもっと祝福してくださるだろう。」と思うことが「律法主義」である。すなわち、「律法主義」とは、人間が作り出した「トーラー」である。

※マタイ15:2-3, 6-9 マルコ7:3, 7-9, 13

**B. 天からのものである、天のトーラーとは：**それは下から上がって来たものではなく、天からのもの、父から来られた生ける御言葉である。上から、天から下って来たもののことである。

### ヨハネ6:48~51

わたしはいのちのパンです。あなたがたの父祖たちは荒野でマナを食べたが、死にました。しかし、これは天から下って来たパンで、それを食べると死ぬことがないのです。わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きます。またわたしが与えようとするパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。

※ヨハネ3:5 (エゼキエル36:25-28) ヨハネ4:10,14 ヨハネ6:48~58 ヨハネ7:37-38

天からのトーラーは、天から下ってくる生ける水である。

### C. 神の御言葉、天からのトーラーであるイエシュア

そのトーラー「ハ・トーラー (הַתּוֹרָה)」、天からのトーラーであるイエシュアの中には水が満ちている。生ける水、ヘブライ語で「水」は「マイム (מַיִם)」、生ける水は「マイム・ハイム (מַיִם חַיִּים)」である。ヘブライ的な概念で「水」は「トーラーの海」を意味する。

「ハ・トーラー (הַתּוֹרָה)」、すなわち、イエシュアから生ける水が流れ出るのである。

**ヨハネ7:37~38** 「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」

"מִי שֶׁצָמָא יָבוֹא נָא אֵלַי וַיִּשְׁתֶּה! הַמֵּאֲמִין בִּי כְדָבַר הַכְּתוּב, נִהְרֹת שֶׁל מַיִם חַיִּים יֵזְרְמוּ מִקַּרְבּוֹ."

これが神の教え「ハ・トーラー (הַתּוֹרָה)」、天からのものである「ハ・トーラー」神様が私たちに与えてくださったもの、それが神の生けるみことば、イエシュア・ハマシアフである。

**ヨハネ5:39** あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。

**ヨハネ5:46** もしあなたがたがモーセを信じているのなら、わたしを信じたはずですよ。

神様は「ハ・トーラー (הַתּוֹרָה)」を通して、私たちにご自分を啓示され、どうすれば、神のみもとに行くことできるかを示してください。ここにいのちがある。

**ヨハネ14:6** イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

「トーラー」は単なる「律法」ではない。神の教え、教訓、指針である。「律法主義」と「トーラー」の違いを私たちははっきり知る必要がある。

### 3) トーラー (הַתּוֹרָה) という言葉の翻訳の問題 (誤解と誤訳)

ここまで、私たちはトーラーの定義を再考してみた。それでは、どうして私たちは今まで「トーラー」を「律法」または「律法主義」だと思ふようになったのか。なぜ、「トーラー」を「律法」と翻訳するようになったのか。その誤解の原因を探ってみることにする。私たちが「トーラー」を「律法」と翻訳し、正しく「トーラー」を理解できなくなったのには、旧約聖書のギリシャ語翻訳版である「70人訳<sup>2</sup>聖書」の影響が大きい。

<sup>2</sup> 七十人訳聖書 (ラテン語: Septuaginta, 「70」の意。LXXと略す) は、紀元前3世紀中頃から前1世紀間に、徐々にギリシア語に翻訳した聖書である。ラテン語読みであるセプトゥアギンタとも呼ばれる。現存する最古の旧約聖書の翻訳の一つである。(wikipedia)

## ① トーラーを律法と思うようになった経緯

### a. ギリシャ語 (νόμος : ノモス) の翻訳の問題

**ヨハネ10:34** イエスは彼らに答えられた。「あなたがたの律法に、『わたしは言った、おまえたちは神々である』と書いてはいないか。 νόμος : ノモス → 律法

ヘブライ語のトーラー (תּוֹרָה) をギリシャ語ではノモス (νόμος) と翻訳しているが、ギリシャ語のノモス (νόμος) は、ヘブライ語のトーラー (תּוֹרָה) より、その意味の幅が広く、多様な意味を持っている。すでに確認したように、「トーラー (תּוֹרָה)」は「教え、教訓、指針」という意味である。だから、ギリシャ語のノモス (νόμος) を一律に律法 (トーラー) と訳してはいけない。しかし、この翻訳の問題は誤解を招き、律法についての歪んだイメージができあがってしまっているのが、現状である。従って、律法をトーラーと考えることには多くの問題がある。

### ■ ノモス (νόμος) の意味

- 習慣、原理 : ローマ7:21
- 憲法、市民法 : ローマ7:1~2
- 国家権力 : ローマ8:2
- ユダヤ教の宗教法 : エペソ2:15
- 律法主義 : ローマ6:14

ギリシャ語のノモスは、このように多様な意味を持っているので、ノモスをすべて律法と訳するのは無理がある。以下の箇所ですべて使われているギリシャ語ノモスは、聖書の御言葉、或いは神の御言葉と訳した方が良い。

- ローマ9:4, マタイ5:17~ (モーセ五書)
- ヨハネ10:34 (詩篇82:6引用)
- 第一コリント14:21 (イザヤ28:11~12引用)

## ② 相応しい翻訳

トーラーの名前には幾つかの代表的なものがある。例えば、「モーセ五書」「律法」というの名前が最も一般的である。しかし、これらのトーラーを意味する名前は私たちの思想と概念を反映したものであって、聖書が言っている「トーラー」の概念を正確に現している名前ではない。だから、トーラー自身が言っている名前を聖書から確認するのが最も重要である。

### ■ トーラー自身の証言

- 出24:7 (契約の書)
- 出25:16 (証しの書)
- 申28:61, 29:21, 30:10, ヨシュア1:8, 詩篇19:7 (トーラーの書、御教えの書)

- a. 契約の書 : トーラーは神様とイスラエルが結んだ契約に関する書物である。
- b. 証しの書 : トーラーは生きておられる神に出会ったことを証しする書物である。
- c. トーラーの書 : トーラーは生きておられる神の御教えを私たちに与える書物である。

## 2. 建物の観点から見た聖書

建物の基礎(土台)であるトーラー (תּוֹרָה) : トーラーは神の教え

### 神の家としてのトーラー



神の家は御子 (イエシュア・ハマシアフ: יֵשׁוּעַ הַמָּשִׁיחַ) によって建てあげられていく家、イエシュアは (ハ・トーラー: תּוֹרָה) であり、神の家は生ける神の御言葉 (イエシュア) によって造られている。(ヨ1:1-3, ヘ11:3) イスラエルで家を造る材料は石 (エヴェン: אֶבֶן) である。(創28:17-22, 1ペ2:4-8) 神の家はイスラエルであり、それが教会である。そして、私たちも、その神のイスラエル、神の教会、神の家、神の宮になるために、召し出され、イスラエルに接ぎ木されているのである。

### ※ユダヤ教の伝統的な聖書分類 (Tanakh)

#### a. תּוֹרָה (トーラー) モーセ五書

創,出,レビ,民,申

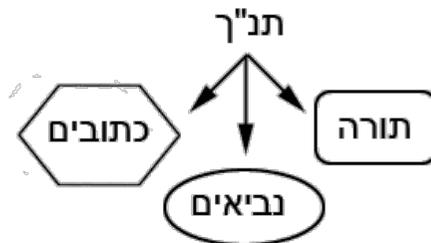
#### b. נְבִיאִים (ネヴィーイーム) 預言書

前期預言書: ヨシュ,士,IIIサム,III列

後期預言書: イザ,エレ,エゼ,小預言書(ホ~マラ)

#### c. כְּתוּבִים (ケトゥーヴィーム) 成文書

詩,箴,ヨブ,雅,ルツ,哀,伝,エス,ダニ,エズ,ネヘ



### ※神の家を造る材料である石

石: אֶבֶן → The Living Torah (ハ・トーラー: תּוֹרָה) であるイエシュア (1ペ2:4-8) 神の家は書かれた神の御言葉 (תּוֹרָה) が生ける神の御言葉 (תּוֹרָה) となって来られたイエシュアによって造られていく。

### ① 神の御言葉を建物に見立てるとトーラーは基礎（ルカ24:27, 44-45）

トーラーは神の教え、指針であり、トーラーは聖書全体の基礎、土台である。聖書全体はトーラーという堅固な基礎の上に建てられている。

### ② 預言書：トーラーに立ち返れ！

預言書はトーラー（神の教え、指針）に戻って来るように呼びかけている書物である。トーラーの道から逸れてしまったイスラエルに対して、再び、トーラーの道に戻って来るように呼びかけている書物である。

### ③ 成文書（知恵文学）：トーラーに従う生き方への励まし

トーラーを生きる生き方を励ましている書物。

### ④ 福音書：The Living TORAH. 生きておられるトーラー (הַתּוֹרָה הַחַיָּה)

生きているトーラー（The Living TORAH）であり、トーラーそのものである方の顕現についての啓示である。イエシュアはトーラーそのものである方、また、そのトーラーを教える教師であった。イエシュアの命令は「トーラー（福音）を地の果てにまで伝えなさい！」という命令である。

### ⑤ 使徒の働き：トーラーを全世界に伝えよ！

トーラーが全世界に宣べ伝えられていくことについての記録である。

### ⑥ 書簡：トーラーを生きる共同体（トーラーの適用）

信じる者たち、主の教会がトーラーをどのように生きるべきなのか。その適用について使徒たちが教えた記録である。

### ⑦ 黙示録：モーセの歌と小羊の歌

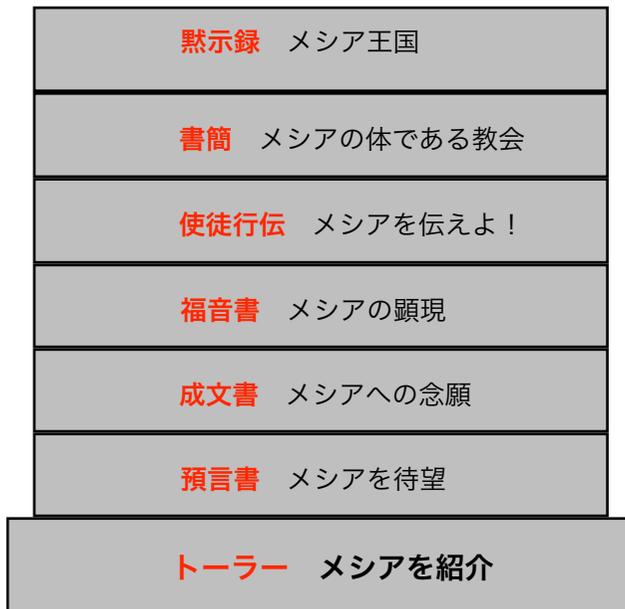
モーセの歌（記録された御言葉であるトーラー）と小羊の歌（生きておられるトーラーであるイエシュア・ハマシアフ）がひとつになる完成について、そのイエシュア・ハマシアフ (יְשׁוּעַ הַמְּשִׁיחַ) の王国がこの地に臨まれる最後の完成についての話しである。

### 3. トーラー (תּוֹרָה) の目的

#### 1) 信じていない者たちに対して

❶メシア (יֵשׁוּעַ הַמָּשִׁיחַ) を紹介する (ルカ24:44~48、ヨハネ1章)

#### メシアを見せてくれる窓トーラー



■トーラー (תּוֹרָה) は建物の基礎であり、また、メシアを紹介するものである。その方が誰であり、その方が何をなさるのかをトーラーは私たちに説明する。それで、イエシュアはアブラハムがイエシュアを見たと言われたのである。ヨハネ8:56 **あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見ることを思って大いに喜びました。彼はそれを見て、喜んだのです。** (ヨハネ8:31~59参照)

アブラハムはメシアについて私たちがトーラーで見たものよりもっと多くのことをトーラーから見たのである。

#### a. 預言書

メシアが来られることへの期待、待望が記録されている。そして、来られるメシアの死と復活について、メシアご自身が神へのいけにえとして捧げられることについても語っている。

#### b. 成文書

メシアに対する思い、メシアが来られ、イスラエルを救われることについて語り、その方が賛美を受けるべき方であることを語っている。

#### c. 福音書

メシアの顕現について語っている。

#### d. 使徒行伝

メシアが地の果てにまで宣べ伝えられることについて語っている。

#### e. 書簡

メシアのからだである教会について、また、教会においてメシアがどのようなお方なのかについて語っている。



神のみことばである聖書はそれぞれが矛盾するものではなく、ひとつである。父が言われたことについては、子も必ず同じことを言われるはずである。 (ヨハネ7:16)  
私たちの神はただひとりである。 (申命記6:4)

#### f. 黙示録

メシア王国について語っている。

※神の御言葉は創世記から黙示録までの全体がこのような統一性を持っている。すべての神の御言葉（トーラー）はメシアを現すものである。だから、メシアを伝える時、私たちは聖書の御言葉のどの部分を用いてもメシアを伝えることができる。人々に神の御言葉（生きておられるトーラー：The Living TORAH：イエシュア・ハマシアフ）を伝えるのが私たちの使命である。トーラーはメシアを現す、メシアに関する書物であり、まだ、信じていない者たちにメシアを紹介する書物である。

②人間の罪を露わにさせる（ローマ7:7）

③真の先生の所に導く（ガラテヤ3:24）

**ガラテヤ3:24** こうして、律法は私たちをキリストへ導くための私たちの**養育係**となりました。私たちが信仰によって義と認められるためなのです。 παιδαγωγός *paidagōgos*

真の先生とは誰なのか。もちろん、イエシュアである。**ヨハネ13:13** あなたがたはわたしを先生とも主とも呼んでいます。あなたがたがそう言うのはよい。わたしはそのような者だからです。

※トラーは信じない者たちに対する養育係の働きをしようとしたが、その養育係の働きは、真の先生の所に導くことである。しかし、その役が終わったら、要らなくなるのではない。違う役割を続けることになる。

## 2) 信じている者たちに対して

### ①神のみことばの根本（土台）

※聖書に張り巡らされているヘブライ的な概念の中で私たちが常に意識すべきことが一つある。

## ㊦弟子道の根幹（Ⅱテモテ3:16～17）

**Ⅱテモテ3:16～17** 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。

- a. 神様について教える（διδασκαλία *didaskalia*）
- b. 罪について戒める（ἐλεγχος *elegchos*）
- c. 矯正する（ἐπανόρθωσις *epanorthōsis*） → 正しく立たせる。回復させる。
- d. 義の訓練をする（παιδεία *paideia*） → 子どもの教育、訓練という意味。  
弟子道のことばである。何を持って、教育し、訓練するのか。

→ トーラー (תּוֹרָה)

## ㊦全ての話の始まり

- a. 罪からの救い（ローマ3章）

- b. いけにえ・祭司・メシア・贖い

※ 私たちが新約的な概念だと思っている事柄はすべてトーラーから見出せる概念である。トーラー無しに新約だけで見出せる新約的な概念は存在しない。

**ヘブル4:2** 福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。

#### ④ 私たちの鏡であるトーラー

Q. 鏡の使用用途は？ (ヤコブ1:22~25)

**ヤコブ1:22~25** また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で見る人のようです。自分をながめてから立ち去ると、すぐにそれがどのようなであったかを忘れてしまいます。ところが、完全な律法、すなわち自由の律法を一心に見つめて離れない人は、すぐに忘れる聞き手にはならないで、事を実行する人になります。こういう人は、その行いによって祝福されます。

#### ⑤ 心に書き記された神のみことば (新しい契約)

(ヘブル9:10)

**エレミヤ31:31~34** 見よ。その日が来る。--【主】の御告げ--その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。--【主】の御告げ--彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。--【主】の御告げ--わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。そのようにして、人々はもはや、『【主】を知れ』と言って、おのおの互いに教えない。それは、彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。--【主】の御告げ--わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さない

#### 4. イエシュアとトーラー

##### 1) 生きているトーラーと書かれたトーラー

**マタイ5:17** わたしが来たのは律法や預言者を廃棄するためだと思ってはなりません。廃棄するためにではなく、成就するために来たのです。

(マタイ4:23~25)

質問) イエシュアの周りにいたパリサイ人、律法学者は何を確認しようとしたのか。彼らがイエシュアの言動から確認しようとしたのは？

質問) 当時、ラビたちは何をする人たちだったのか。

①マタイ5:17

「わたしが来たのは律法や預言者を**廃棄**するためだと思ってはなりません。」

- 廃棄するとは？

②マタイ5:17

「わたしが来たのは律法を成就するために来たのです。」

- 私たちの誤解
  
- 成就するとは？

**マタイ5:17** わたしが来たのは律法や預言者を廃棄するためだと思ってはなりません。廃棄するためにではなく、成就するために来たのです。

**マタイ5:17** わたしが来たのはトーラーや預言者について（ ）するためだと思ってはなりません。（ ）するためにではなく、（ ）するために来たのです。

質問) ミシュナー、ミドラーシュなどの膨大なラビ文献は何か？

質問) イェシュアのトーラー解釈、注解は？



④トラーを学び、教える者への報い（1コリント9:26～27, 黙示22:12～13）

**マタイ5:19** だから、戒めのうち最も小さいものの一つでも、これを破ったり、また破るように人に教えたりする者は、天の御国で、最も小さい者と呼ばれます。しかし、それを守り、また守るように教える者は、天の御国で、偉大な者と呼ばれます。

⑤ハトラーであるイエシュアの権威（マタイ7:28～29）

**マタイ7:28～29** イエスがこれらのことばを語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。というのは、イエスが、律法学者たちのようではなく、権威ある者のように教えられたからである。

**ヨハネ5:19～20** そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行う以外には、自分からは何事も行うことができません。父がなさることは何でも、子も同様に行うのです。それは、父が子を愛して、ご自分のなさることをみな、子にお示しになるからです。また、これよりもさらに大きなわざを子に示されます。それは、あなたがたが驚き怪しむためです。

# 創世記

## 1. 神の家 הַבַּיִת

### 1) 御子がかしらである神の家

創世記1:1 初めに、神が天と地を創造した。

■ベレーシート (初めに)

בְּרֵאשִׁית

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ  
וְהָאָרֶץ הִיְתָה תוֹהוּ וָבֹהוּ וְרוּחַ עֲלֵי תְהוֹם וּדְבַר  
אֱלֹהִים מְרֻחָף עַל פְּנֵי הַמַּיִם וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים יְהִי  
אוֹר וַיְהִי אוֹר וַיִּרְא אֱלֹהִים אֶת הָאוֹר כִּי טוֹב  
וַיַּבְדֵּל אֱלֹהִים בֵּין הָאוֹר וּבֵין הַחֹשֶׁךְ וַיִּקְרָא  
אֱלֹהִים לְאוֹר יוֹם וּלְחֹשֶׁךְ לַיְלָה וַיְהִי עֶרְבַּיִם  
וַיְהִי בֹקֶר יוֹם אֶחָד

ヨハネ1:1~3 初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

ヘブル 11:3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。

(マタイ13:55)

### 2) 神の家の礎の石 (אֶבֶן)

#### ①ヤコブ

創世記28:15 見よ。わたしはあなたとともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」 16 ヤコブは眠りからさめて、「まことに【主】がこの所におられるのに、私はそれを知らなかった」と言った。 17 彼は恐れおののいて、また言った。「この場所は、なんとおそれおおいことだろう。こここそ神の家にほかならない。ここは天の門だ。」 18 翌朝早く、ヤコブは自分が枕にした石を取り、それを石の柱として立て、その上に油をそそいだ。 19 そして、その場所の名をベテルと呼んだ。しかし、その町の名は、以前はルズであった。 20 それからヤコブは誓願を立てて言った。「神が私とともにおられ、私が行くこの旅路を守り、食べるパンと着る着物を賜り、 21 無事に父の家に帰らせてくださり、こうして【主】が私の神となられるなら、 22 石の柱として立てたこの石は神の家となり、すべてあなたが私に賜る物の十分の一を必ずささげます。」

## ②ヨシュア (ヨシュア記4:1~7)

■イエシュア・ハマシア

フ (י)

ראש  
בְּרֵאשִׁית  
בֵּית

שׁוּעַ הַמַּשִּׁיחַ

■生ける水 (מֵי חַיִּים)

חַיִּים



## ③ダビデ

**サムエル17:40** 自分の杖を手に取り、川から五つのなめらかな石を選んできて、それを羊飼いの使う袋、投石袋に入れ、石投げを手にして、あのペリシテ人に近づいた。

#### ④ダニエル

**ダニエル2:31** 王さま。あなたは一つの大きな像をご覧になりました。見よ。その像は巨大で、その輝きは常ならず、それがあなたの前に立っていました。その姿は恐ろしいものでした。**32** その像は、頭は純金、胸と両腕とは銀、腹とももとは青銅、**33** すねは鉄、足は一部が鉄、一部が粘土でした。**34** あなたが見ておられるうちに、一つの石が人手によらずに切り出され、その像の鉄と粘土の足を打ち、これを打ち砕きました。

**ダニエル2:44** この王たちの時代に、天の神は一つの国を起こされます。その国は永遠に滅ぼされることがなく、その国は他の民に渡されず、かえってこれらの国々をことごとく打

#### ⑤ペテロ

1 ペテロ2:4 主のもとに来なさい。主は、人に捨てられたが、神の目には、選ばれた、尊い、生ける石(הַיָּסוּד הַחַי)です。5 あなたがたも生ける石として、霊の家(בְּיַת רוּחַ)に築き上げられなさい。そして、聖なる祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる霊のいけにえをささげなさい。6 なぜなら、聖書にこうあるからです。「見よ。わたしはシオンに、選ばれた石、尊い礎石を置く。彼に信頼する者は、決して失望させられることがない。」7 したがって、より頼んでいるあなたがたには尊いものですが、より頼んでいない人々にとっては、「家を建てる者たちが捨てた石、それが礎の石となった」のであって、8 「つまずきの石、妨げの岩」なのです。彼らがつまずくのは、みことばに従わないからですが、またそうなるように定められていたのです。9 しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざ

(出25:8, ヨハネ1:14, 2:21)

ヘブル1:1~3 神は、むかし父祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られましたが、この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の大能者の右の座に着かれました。

3) 組み立てる者 (יָסִיד אָרְמוֹן : 匠、建築家、熟練工) であるイエシュア

箴言8:22~30【主】は、その働きを始める前から、そのみわざの初めから、わたしを得ておられた。大昔から、初めから、大地の始まりから、わたしは立てられた。深淵もまだなく、水のみなざる源もなかったとき、わたしはすでに生まれていた。山が立てられる前に、丘より先に、わたしはすでに生まれていた。神がまだ地も野原も、この世の最初のちりも造られなかったときに。神が天を堅く立て、深淵の面に円を描かれたとき、わたしはそこにいた。神が上のほうに大空を固め、深淵の源を堅く定め、海にその境界を置き、水がその境を越えないようにし、地の基を定められたとき、30 わたしは神のかたわらで、

■ 箴言は「הַחֵמָה (ホフマー：知恵)」という言葉がキーワード

知恵、「הַחֵמָה」は、神のことば、「הַתּוֹרָה」であり、神のことば、「הַתּוֹרָה」が人となって来られた方が、イエシュアである。ヨハネ1:14 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。それで、初代教会の使徒たち、弟子たちはイエシュアのことを「הַתּוֹרָה (ハトーラー)」と呼んでいた。

黙示録3:14 また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。『アーメン(אָמֵן)である方、忠実(אֱמֻנָה)で、真実(אֱמֻנָה)な証人、神に造られたものの根源である方がこう言われる。

ハバクク2:4見よ。彼の心はうぬぼれていて、まっすぐでない。しかし、正しい人はそのאֱמֻנָהによって生きる。

א (神の) מ (真理、みことば) י (実在化する、人となる)

י (忠実さ、魚) ה (神を見る)

(ヨハネ14:9)

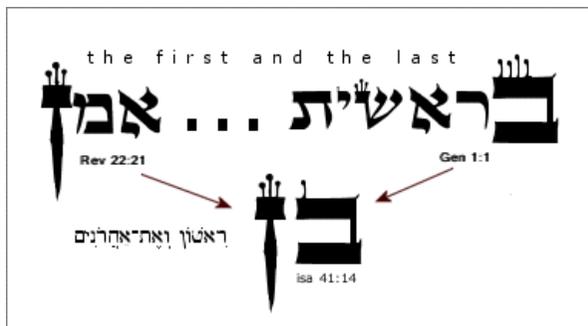
**ガラテヤ2:20** 私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。

イエシュアが「知恵：הַחֵמָה」であり、イエシュアが「神のことば：הַתּוֹרָה」であり、イエシュアが「創造者、組み立てる者：אֱמוּן」であることが分かる。神の家「הַבַּיִת」は、イエシュアによって、造られ、イエシュアがそのかしらであられる家である。

**箴言9:1** 知恵は自分の家を建て、七つの柱を据え、  
(חֵכְמוֹת בְּנִיתָה בַּיְתֶהָ; חֵצְבָה עַמּוּדֵיהָ שִׁבְעָה)

**箴言24:3** 家は知恵によって建てられ、英知によって堅くされる。

聖書全体は、神の御子がかしらである家が父と子によって、創られていく話であり、創世記1章1節は正にそのことについて語られている。聖書は、בְּרֵאשִׁית で始まり、אֱמוּן で終わっている。



## 2. ベレーシート（初めに）

### 1) 本の名前（בְּרֵאשִׁית）

（聖書の御言葉は人生のしおり）

#### ①創世記というタイトルについて

γένεσις（ゲネシス：ギリシャ語）、Genesis（英語）、日本語（創世記）

בְּרֵאשִׁית（ベレーシート：ヘブライ語）

英語のタイトルはギリシャ語から来ている（創世記2:4に由来）。

#### ■ γένεσις（ゲネシス：ギリシャ語）の意味

起源、初まり、系図（ヘブライ語では、תּוֹלְדוֹתと同じ）

（マタイ1:1の系図という言葉がギリシャ語でγένεσιςで、創世記2:4から）

#### ■ בְּרֵאשִׁית（ベレーシート：ヘブライ語）の意味

始まり（創1:1）、初め（エレ28:1, 詩111:10）、初物（創49:3, レ2:12）

長子（申21:17）、かしら（民24:20）

創世記1:1 初めに、神が天と地を創造した。

■ マタイ1:1（系図：創世記2:4）、ヨハネ1:1（初めに：創世記1:1）

## 2) 創世記の構造

### ①地理的な構造

a. エデンの園（創2:8, 黙22:1-2）

b. メソポタミア（アブラハムの始まり）

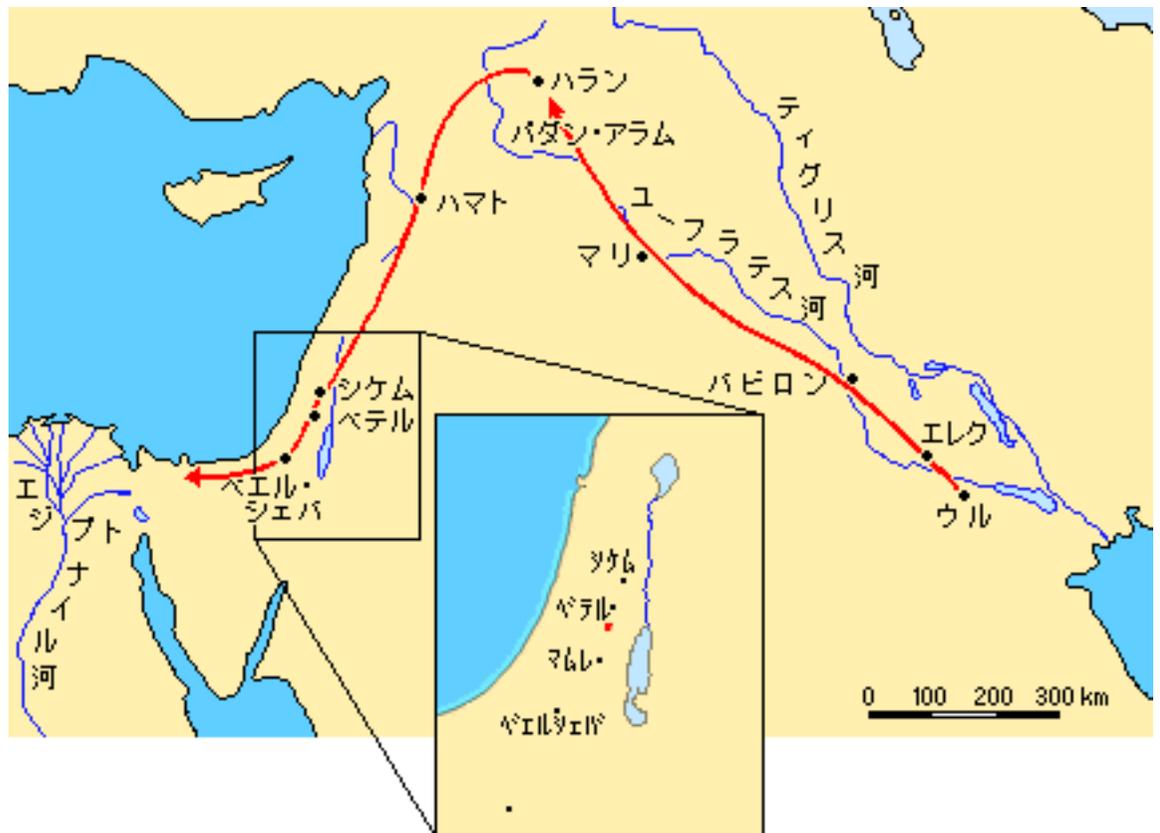
ギリシャ語で「両河の間の土地」の意。チグリス川ユーフラテス川の流域  
一帯。イラクを中心にシリア北東部イラン南西部を含む。

c. カナン（神ガアブラハムに示された地）

d. エジプト（創世記37章から）

■アブラハムの移動経路と創世記

①カルデアのウル（アブラハム故郷であるメソポタミア）から（ハランを経て）カナンへ ➡ ②カナン（アブラハムとその子孫たち）からエジプトに下る（ここまでが創世記） ➡ ③エジプト（アブラハムの孫のヤコブとその一族）から（荒野を通り）カナンへ（出エジプト、レビ記、民数記） ➡ ④カナン（申命記）



## ②出来事の順序による構造

### a. 創造の記録（創1:1～2:3）

b. 人類の始まり（創2:4～11:26）

■ 私たちみんなの話、私たちはどこから始まったのか。何が問題だったのか。  
そして、この後から、創世記の焦点は一つの家族の話へと変わっていく。  
すなわち、アブラハムの話の始まりである。

c. アブラハムの選択（創11:27～23:30）

d. イサクの選択（創24:1～26:35）

e. ヤコブの選択（創27:1～36:43）

f. ユダの選択（創38）

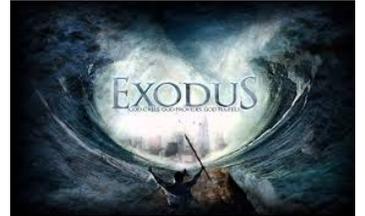
g. ヨセフの物語り（創37:1～50:26）



★ すなわち、私たちが創世記で注目すべきこと、創世記の中心的話は「アブラハムとその家族の話」だということである。

# 出エジプト記

## 1. 贖いの本



- どうして贖いが必要なのか。(1～11章)
- 贖われた具体的な状況。(12～14章)
- 贖われた者たちの旅路。(15～19章)
- 贖われた者たちに与えられた物。(20～24章)
- 贖われた者たちに臨む神のご臨在。(25～40章)

### ①贖いの本 (出1:1)

出エジプト記1:1 さて、ヤコブといっしょに、それぞれ自分の家族を連れて、エジプトへ行ったイスラエルの子たちの名は次のとおりである。

וְאֵלֶּה, שְׁמוֹת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל, הַבָּאִים מִצְרָיִמָּה; אֵת יַעֲקֹב, אִישׁ וּבֵיתוֹ בָּאוּ:

- וְאֵלֶּה, שְׁמוֹת (And these were the names of the sons of Israel..)
- וַיִּקְרָא אֶל־מֹשֶׁה (And YAHWEH called to Moses..)
- וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה (And YAHWEH spoke to Moses..)

### ▪ イスラエルの子らの名前

- ・ ルベン (רְאוּבֵן, ר)

- ・ シメオン (レ、 שִׁמְעוֹן)
- ・ レビ (レ、 לֵוִי)
- ・ ユダ (レ、 יְהוּדָה)
- ・ ダン (ヒ、 דָּן)
- ・ ナフタリ (ヒ、 נַפְתָּלִי)
- ・ ガド (ジ、 גָּד)
- ・ アシェル (ジ、 אֲשֵׁר)
- ・ イッサカル (レ、 יִשָּׂשכָר)
- ・ ゼブルン (レ、 זְבֻלֹן)
- ・ ヨセフ (ラ、 יוֹסֵף)
- ・ ベニヤミン (ラ、 בְּנֵימִין)

## ② שְׁמוֹת (Names)

- 創世記46:8以下

## ③ מִצְרַיִם (エジプト)

מִצְרַיִם の複数形 (圧迫、包囲、狭いところ)

## 2. 贖い

### ① エジプト (מִצְרַיִם)

### ② 束縛 (出1:11,22 出2:2, イザヤ7:14, 9:6 マタイ1:21,23)

**出エジプト記1:11** そこで、彼らを苦役で苦しめるために、彼らの上に労務の係長を置き、パロのために倉庫の町ピトムとラメセスを建てた。

### ③ 暗やみの王国に仕える (出1:11)

④ 共におられる神（出1:17～21, 2:23～25）

⑤ 十の災い（7章14節～11章）

- a. 水が血に
- b. かえる
- c. ぶよ
- d. あぶ
- e. 疫病による家畜の死
- f. うみの出る腫物
- g. 雹
- h. いなご
- i. 暗やみ
- j. 初子の死

**出エジプト記8:18～19(22～23)** しかし、その日、わたしはわたしの民の住むゴシェン地方を区別し、そこにあぶを入り込ませない。あなたはこうして、主なるわたしがこの地のただ中にいることを知るようになる。わたしは、わたしの民をあなたの民から**区別して贖う**。明日、このしるしが起こる』と。」

**קָדַשׁ** 分離、区別、贖い      **קָדַשׁ** 身代金をもらって釈放する

### 3. 贖いの具体的な出来事

① 初子の死（出12:12）参：ヨ6:53以下

② 過越の食事（出12:8～11）

③ 出エジプト（出12:41）

#### ■ 記念すべき（覚えておくべき）日

① 食べ物を通して記念する（出12:8）

・ חֲמֵץ

・ מַצָּה

・ מַרֵּר

② イエシュアを記念する（エペソ1:7, コリ5:7～8）

③ サイクル（מוֹעֲדֵימ）を通して記念する（出23章, レビ23章）

## ■アイデンティティの変革

**出エジプト記19:5** 今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエル人にあなたの語るべきことばである。

奴隷 → 自由人

ヘブル人 → イスラエル

## 4. 贖われた者たちの旅路（出14～19章）

**ローマ15:4** 昔書かれたものは、すべて私たちに教えるために書かれたのです。それは、聖書の与える認待と励ましによって、希望を持たせるためなのです。

### ① 荒野を通る (מִדְבָּר)

a. 神の御声（神の心、神の御ことば）を聞く場所

b. 避け所（出19:4）

c. 荒野に対する誤解

② 贖いと救い (出6:6, 14:13)

③ マラ (מַרָּא) の水 (出15:22~25)

④ エリム (אֵילִם) (出15:27)

⑤ シンの荒野 (出16:12~13)  
マナとうずら

⑥ レフィディム רִפְדִּים (出17章)

a. 岩 (צוּר) から水が出る (出17:6)

※ 詩篇18:2, 19:14 イザヤ8:14, 28:16, ローマ9:33, Iペテロ2:7-8

b. アマレクとの戦い（出17:8～16）

※ 創世記36:12（アマレクはエサウの子孫）

申命記25:17～19（アマレクは神の民に敵対する勢力を象徴する）

Iサムエル15:3, 18-23, 32（サウル王とアマレクの王アガグ）

エステル2:5, 3:1（アガグ人ハマンとベニヤミン人モルデカイ）

c. イテロ (יִתְרוֹ) の登場（出18章）

⑦ シナイの荒野（シナイ山：הַר סִינַי）19章～24章

出エジプトによって始まった贖いのプロセスのハイライト

## 5. 贖われた者たちのための書物（出19～24章）



## 6. 贖われた者たちの中に住まわれる神（出25～40章）

① 聖所による啓示 (מִקְדָּשׁ ← שֵׁן) = (מִשְׁכָּן)

**出エジプト記25:8～9** 彼らがわたしのために聖所を造るなら、わたしは彼らの**中**に住む。幕屋の型と幕屋のすべての用具の型とを、わたしがあなたに示すのと全く同じように作らなければならない。

**創世記1:6** 「大空が水の真ただ**中**にあれ。水と水との間に区別があれ。」

**創世記1:8** 神は大空を天と名づけられた。

**ヨハネ1:14** ことばは人となって、私たちの**間**に住まわれた。

14 הַדָּבָר נִהְיָה בְּשָׂר וְשֹׁכֵן בְּתוֹכֵנוּ;

בְּתוֹךְ (中)

רָקִיעַ (大空)

שָׁמַיִם (天)

**黙示録21:2～3** 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。」

② 聖所の中の用具による啓示

- a. 祭壇 (הַמִּזְבֵּחַ) ハミズベーフ 赦し
- b. 洗盤 (כִּיּוֹר) キヨール きよめ
- c. 燭台 (הַמְנוֹרָה) ハメノーラー 神の光
- d. パンの机 (שֻׁלְחַן הַפָּנִים) シュルハン ハパーニーム いのちのパン
- e. 香の壇 (מִזְבֵּחַ הַקְטֹרֶת) ミズバフ ハケトーレト 祈り
- f. あかしの箱 (אָרוֹן הָעֵדוּת) アローン ハーエードット 贖罪、神と一つになる  
契約の箱 (אָרוֹן בְּרִית) アローン ベリート

③ 祭司 (出27章～)

出エジプト記19:6 あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。

④ 出エジプト記に顕された神

- a. ご自分の民を顧みられる神（出2:24-25）
- b. ご自分の契約に対して真実な神（出6:2-5）
- c. 高ぶる者を謙らされる神（出4～11章）
- d. 贖われた者たちの神（出12～13章）
- e. 救ってくださる神（出13～15章）
- f. 語られる神（出19～20章）
- g. めぐみとあわれみに富んでおられる神（出34:6）
- h. 民を教える神
- i. ご自分の民の中に住まれる神（出40:34）

- 仮庵の祭り
- シムハット・トーラー
- 祭りの終わりの大なる日（ホーシャーナー・ラバー）

ヨハネ7:37～38 さて、祭りの終わりの大なる日に、イエスは立って、大声で言われた。  
「だれでも渇いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書  
が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」

- אֱלֹהִים

- 何故トーラーを学ぶのか。トーラーが私たちに与える影響は何か。

- イエシュアに対するユダヤ人の見方に影響を与えたものは何か。

### 1. 歴史的な原因

### 2. 神学的な原因

- ユダヤ人が持っている信仰の土台

① יהוה אלהינו (アドナイ エハード)

申命記6:4 聞きなさい。イスラエル。【主】は私たちの神。【主】はただひとりである。

שמע ישראל; יהוה אלהינו יהוה אחד

② イスラエル (約束の地)

③ トーラー

3. キリスト教会はユダヤ人に何をしたのか。

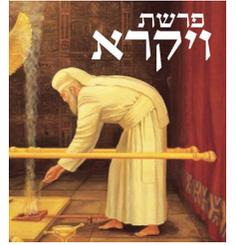
① אֲדֹנָי הַיְהוָה (アドナイ エハード)

② イスラエル (約束の地)

③ トーラー

# レビ記

## 1. 聖別の本



**レビ記11:45** わたしは、あなたがたの神となるために、あなたがたをエジプトの地から導き出した【主】であるから。あなたがたは聖なる者となりなさい。わたしが聖であるから。

### 1) 内容

- 捧げ物の規定 (1～7章)
- 祭司の任職と祭司の務め (8～10章)
- 動物とその死体に関する規定 (11章)
- 身体的汚れに関する規定 (12～15章)
- 贖罪日 (16章)
- 家畜の取扱に関する規定 (17章)
- 異教的習慣の除去 (18章)
- 聖い生活 (19章)
- 死刑に当たる罪 (20章)
- 祭司に関する規定といけにえに関する規定 (21～22章)
- 主の例祭 (23章)
- 日ごと、週ごとの祭儀に関する規定 (24章)
- 安息年とヨベルの年の規定 (25章)
- 祝福とのろい、約束 (26章)
- 捧げ物の評価について (27章)

### 2) レビ記の名称

- ・英語：Leviticus (ギリシャ語から来た名称、レビ族に属するという意)
- ・ヘブライ語：ויקרא (ヴァツィクラー：彼が呼ばれた)

## 2. 捧げ物のシステム

### ① 捧げ物についての一般的な概念

### ② 聖書にみる捧げ物

#### a. 捧げ物の意味（レビ1:1～2）

● コルバン קָרְבָּן

● 和解のいけにえ שְׁלָמִים

#### b. いけにえに関する誤解

● コルバン（捧げ物）の種類

・ 全焼のいけにえ עֹלָה オーラー

・ 穀物のささげもの **מִנְחָה** ミンハー

・ 和解のいけにえ **שְׁלָמִים** シェラーミーム

・ 罪のためのいけにえ **חַטָּאת** ハターアート

・ 罪のためのいけにえ **אֲשָׁם** アーシャーム

### c. いけにえに関する正しい理解

#### ③まとめ

# 民数記



NUMBERS

THE KEYS TO UNLOCKING  
BIBLE PROPHECY

## 1. 荒野の旅路の本

**民数記1:1~2** 人々がエジプトの国を出て二年目の第二月の一日に、主はシナイの荒野の会見の天幕でモーセに告げて仰せられた。「イスラエル人の全会衆を、氏族ごとに父祖の家ごとに調べ、すべての男子の名をひとりひとり数えて人口調査をせよ。

### 1) 内容

- シナイ山での準備（1章～10章10節）
  - ① 第一次人口調査（1:1～4:49）
  - ② 聖別に関する各種の規定（5:1～10:10）
- 荒野の旅路（10章11節～22章1節）
  - ① シナイ出発、カデシュ、カナン偵察、民の反抗（10:11～14:45）
  - ② モアブ平地の旅路（15:1～22:1）
- モアブ平地での出来事（22章2節～36章）
  - ① バラクとバラム、ペオルでの出来事、第二次人口調査（22:2～26:65）
  - ② 捧げ物の規定、誓願の規定（27:1～30:16）
  - ③ 征服と分配（31:1～36:13）

### 2) 民数記の名称

- ・ 英語：Numbers（ギリシャ語から来た名称で、2回の人口調査を反映した名称）
- ・ ヘブライ語：בְּמִדְבָּר（ベミドバル：荒野で）

### 3) 記録目的

- ① イスラエルの荒野の旅路を通して、荒野の旅を導く方は主であることを示すため
- ② 不従順による裁きを通して、従順の重要性を強調するため
- ③ 約束の地の占領と分配問題を通して、神の愛を示すため

# 申命記

## 1. 契約 (בְּרִית) の本

### 1) 契約の本

- 創世記：始まりの本
- 出エジプト記：贖いの本
- 申命記：契約の本



申命記1:1 これは、モーセがヨルダンの向こうの地、パランと、トフェル、ラバン、ハツエロテ、ディ・ザハブとの間の、スフの前にあるアラバの荒野で、イスラエルのすべての民に告げたことばである。

אֱלֹהֵי הַדְּבָרִים, אֲשֶׁר דִּבֶּר מֹשֶׁה אֶל-כָּל-יִשְׂרָאֵל, בְּעֵבֶר הַיַּרְדֵּן;  
בַּמִּדְבָּר בְּעַרְבָה מִלִּל סוּף בֵּין-פָּאֲרֹן וּבֵין-תַּמְּלָל וְלָבֹן וְחִצְרַת וְדִי זֶהָב:

### 2) 申命記の名称

- ・英語：Deuteronomy（ギリシャ語から来た名称、二番目のトラーという意）
- ・ヘブライ語：אֱלֹהֵי הַדְּבָרִים（これらはことばである）

黙示録19:9 御使いは私に「小羊の婚宴に招かれた者は幸いだ、と書きなさい」と言い、また、「これは神の真実のことばです」と言った。 אֱלֹהֵי הַדְּבָרִים

### 3) 申命記は何のための書物なのか。

- ①ユダヤ人にとって最も重要な書物の一つ

## ②新約聖書の下地

### ③靈的戦いに関する本（イエシュアと靈の戦い マタイ4:1-11）

申命記8:2～3

קַמְּךָ

#### ■ イエシュアと靈の戦い

a. マタイ4:3～4 （申命記8:3）

b. マタイ4:5～7 （申命記6:16）

c. マタイ4:8～10 (申命記6:13)

#### 4) 申命記の神学 (申命記に見る神)

申命記4:24 あなたの神、【主】は焼き尽くす火、ねたむ神だからである。

24 כִּי יְהוָה אֱלֹהֵינוּ, אֵשׁ אֹכֶלֶת הוּא; אֵל קַנָּא:

①焼き尽くす火 (אֵשׁ אֹכֶלֶת)

②ねたむ神 (אֵל קַנָּא)

申命記4:31 あなたの神、【主】は、あわれみ深い神であるから、あなたを捨てず、あなたを滅ぼさず、あなたの先祖たちに誓った契約を忘れない。

31 כִּי אֵל רַחוּם יְהוָה אֱלֹהֶיךָ, לֹא יִרְפֶּךָ וְלֹא יִשְׁחִיתֶךָ; וְלֹא יִשְׁכַּח אֶת-בְּרִית אֲבֹתֶיךָ, אֲשֶׁר נִשְׁבַּע לָהֶם:

③あわれみ深い神 (אֵל רַחוּם)

申命記6:4 聞きなさい。イスラエル。【主】は私たちの神。【主】はただひとりである。

4 שִׁמַע יִשְׂרָאֵל; יְהוָה אֱלֹהֵינוּ יְהוָה אֶחָד:

④【主】はただひとり (יְהוָה אֶחָד)

申命記7:9 あなたは知っているのだ。あなたの神、【主】だけが神であり、誠実な神である。

9 וְיָדַעְתָּ, כִּי-יְהוָה אֱלֹהֶיךָ הוּא הָאֱלֹהִים; הָאֵל הַנִּצָּנִן

⑤誠実な神 (הָאֵל הַנִּצָּנִן)

## 2. 契約の概念

- 1) 聖書における契約 (בְּרִית) の重要性  
神様と私たちの関係は契約関係である。

### 2) 聖書における契約 (בְּרִית) の比較

- ① アブラハム契約 (創世記15:1-18)



創世記15:6 彼は【主】を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

וְהָאֱמֵן בִּיהוָה; וַיִּחְשְׁבֶהָ לוֹ צְדָקָה: 6

- アブラハムの信仰とは？（創15:2-3；ガラ3:22-29）

②モーセ契約（シナイ契約、トーラー契約）（出15:26, 19:5-6）

- アブラハム契約（信仰の契約）とモーセ契約の関係（トーラーの契約）

信仰（אֱמוּנָה）

トーラー（הַתּוֹרָה）創26:5

**創世記26:3** あなたはこの地に、滞在しなさい。わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福しよう。それはわたしが、これらの国々をすべて、あなたとあなたの子孫に与えるからだ。こうしてわたしは、あなたの父アブラハムに誓った誓いを果たすのだ。**4** そしてわたしは、あなたの子孫を空の星のように増し加え、あなたの子孫に、これらの国々をみな与えよう。こうして地のすべての国々は、あなたの子孫によって祝福される。**5** これはアブラハムがわたしの声に聞き従い、わたしの戒めと命令とおきてとおしえ (תּוֹרָה) を守ったからである。」

**黙示録 3:14** また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。『**アーメン(אָמֵן)である方、忠実(אֱמִתּוֹ)で、真実(אֱמֻנָה)な証人**、神に造られたものの根源である方がこう言われる。**ハバクク2:4**見よ。彼の心はうぬぼれていて、まっすぐでない。しかし、正しい人はその信仰 (אמונה) によって生きる。

■申命記 (契約の本 : בְּרִית) 申命記4:1～26:19

Q. 私たちは何によって救われますか。

・ヘブル2:10

・ヘブル12:2

・ローマ1:17

**申命記4:2** 私があなたがたに命じることばに、つけ加えてはならない。また、減らしてはならない。私があなたがたに命じる、あなたがたの神、【主】の命令を、守らなければならない。

■聖書が語る信仰 (אמונה) は誠実さ、真実さ、忠実さである。(哀歌3:23)

・ヨハネ5:19,14:10,14:24, マタイ5:17～20

■ それでは聖書が語る信仰とは何か。(ヘブル12:2)

申7:9 あなたは知っているのだ。あなたの神、【主】だけが神であり、誠実な神である。

וַיִּדְעֶתָ, כִּי־יְהוָה אֱלֹהֵינוּ הוּא הָאֱלֹהִים; הָאֵל הַנֶּאֱמָן<sup>9</sup>

申命記に示されている神の御名

■ 誠実な神 (הָאֵל הַנֶּאֱמָן) 黙示録3:14

### 3. 契約の更新 (新しい契約)

1) 荒野の行程の三つの目的

申命記8:1~2 私が、きょう、あなたに命じるすべての命令をあなたがたは守り行わなければならない。そうすれば、あなたがたは生き、その数はふえ、【主】があなたがたの先祖たちに誓われた地を所有することができる。あなたの神、【主】が、この四十年の間、荒野であなたを歩ませられた全行程を覚えていなければならない。それは、あなたを苦しめて、あなたを試み、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るためであった。

①あなたを試み、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るため

**申命記8:3** それで主は、あなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナを食べさせられた。それは、人はパンだけで生きるのではない、人は【主】の口から出るすべてのもので生きる、ということ、あなたにわからせるためであった。

②人はパンだけで生きるのではない、人は【主】の口から出るすべてのもので生きる、ということ、あなたにわからせるため

#### **申命記8:16**

あなたの先祖たちの知らなかったマナを、荒野であなたに食べさせられた。それは、あなたを苦しめ、あなたを試み、ついには、あなたをしあわせにするためであった--

③あなたを苦しめ、あなたを試み、ついには、あなたをしあわせにするため

## 2) 新しい契約の啓示 (更新された契約)

- 心の割礼：心に書き記される契約 (申命記10:12~16、30:6)

**申命記30:6** あなたの神、主はあなたとあなたの子孫の心に割礼を施し、心を尽くし、魂を尽くして、あなたの神、主を愛して命を得ることができるようになさる。

- からだの割礼 (ローマ2:28~29)

- 心の割礼：心に書き記される契約

エレミヤ31:31~34 見よ。その日が来る。--【主】の御告げ--その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約(3)を破ってしまった。--【主】の御告げ--彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。--【主】の御告げ--わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。そのようにして、人々はもはや、『【主】を知れ』と言って、おのおの互いに教えない。それは、彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。--【主】の御告げ--わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さな

※ 申命記6:4~8

### 3) 新しい契約の啓示 (ヘブル人への手紙)

- ヘブル7:12~22

- ヘブル9:10

- ヘブル10:16

- 心の割礼の新約的意味 (コロサイ2:11~12; 使徒7:51)

**エゼキエル36:25~28** わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよめられる。わたしはすべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ、あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。わたしの霊をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従って歩ませ、わたしの定めを守り行わせる。あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。

#### 4) 耳の割礼ー心の割礼ーキリストの割礼ー聖霊のバプテスマ

- シナイ契約の成就

**出エジプト記19:3~6** モーセは神のみもとに上って行った。【主】は山から彼を呼んで仰せられた。「あなたは、このように、ヤコブの家に言い、イスラエルの人々に告げよ。あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に載せ、わたしのもとに連れて来たことを見た。今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエル人にあなたの語るべきことばである。」

※ エレミヤ31:12 (エデンの回復)

#### 5) 心に割礼が施された者パウロ

**1コリント2:16** いったい、「だれが主のみこころを知り、主を導くことができたか。」ところが、私たちには、キリストの心があるのです。

## 4. 御名を置くために選ぶ場所

### 1) 私たちの新しい名

**黙示録19:9** 御使いは私に「小羊の婚宴に招かれた者は幸いだ、と書きなさい」と言い、また、「これは神の真実のことばです」と言った。

**黙示録19:13** その方は血に染まった衣を着ていて、その名は「神のことば」と呼ばれた。

### 2) 御名を置くために選ぶ場所はどこか。

- 申命記12:5,11,21; 14:23~24; 16:2,6,11; 26:2

### 3) 神が御名を置くために選ぶ場所は物理的な場所ではない。

- 黙示録21:22
- 黙示録12:14~17 (女の残りの子孫)
- 黙示録14:1; 20:4, 22:1~5